



神戸電鉄粟生線の存続のために④

粟生線活性化協議会の役割

危機的な状況に関心を…

🚆 平成21年に協議会設置

平成21年11月に、神戸、三木、小野の沿線3市や、県、国、沿線住民の代表と神戸電鉄が、粟生線の利用促進に向け、「乗って残そう未来の粟生線」を合言葉に、神戸電鉄粟生線活性化協議会を設置しました。

同協議会では、利用者を増やすため、国の補助事業なども活用して、小野駅前の時間貸パーク&ライド駐車場の整備や、企画きっぷ用自動販売機の設置、粟生線サポーターズくらぶの設立、シンポジウムの開催など、様々なことに取り組んでいます。

🚆 高校生や沿線住民も協力

毎日の通学で利用する沿線の高校生は、駅広告枠を活用した利用啓発絵画の掲示、駅ホーム内での利用啓発アナウンス、粟生線を題材にした絵本の作成などの活動を通じて、粟生線を残そうとしています。



小野駅前の時間貸駐車場

さらに、沿線の地域づくり協議会では、「サポーターズくらぶ」の年会費の一部を補助する制度を創設したり、主催イベントに粟生線を利用して会場にいられた方に、景品を贈呈したりするなどの支援をいただいています。

これらの活動や支援は、危機的な状況にある粟生線への関心を高めることにつながり、粟生線の維持存続に向け、大きな効果があると考えています。

▼問い合わせ先 交通政策グループ (☎️ 078-1404)